**別紙**

農業経営改善計画認定申請書における現状と目標・措置の記入留意事項

１．「③生産方法の合理化に関する現状と目標・措置」について

　この項目には、農地の利用条件（圃場区画の大きさや団地化）、作目・部門別の合理化の方向性等について、現状、目標及び目標達成のための具体的な方策を記載してください（複数記載可）。

　【合理化の方向の例】

　・農地の集積による規模拡大

　・農地の集約化による作業効率の向上

　・農業生産工程管理（ＧＡＰ）の導入

　・生産の効率化及び高度化

　・スマート農業の推進

　・栽培または飼養に係る新技術の導入

　・自給飼料の生産及び利用の拡大

　・持続性の高い農業生産方式

　・省エネ技術を利用した生産管理の推進

　・有機農業の推進　　　　　　　　　　　　等

２．「④経営管理の合理化に関する現状と目標・措置」について

　この項目には、簿記記帳等の会計処理、経営内での役割分担、経営の法人化等について、現状、目標及び目標達成のための具体的な方策を記載してください（複数記載可）。

　【合理化の方向の例】

　・簿記記帳等の会計処理

　・経営内での役割分担

　・経営の法人化

　・高付加価値化

　・ブランド化

　・新たな販路拡大

　・新製品の創造

　・マーケティング力の強化

　・顧客に対する情報発信

　・農業生産工程管理（ＧＡＰ）の導入

３．「⑤農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置」について

　この項目には、人材確保に向けた就業規則等の整備、相続・経営承継に関する取組等について、現状、目標及び目標達成のための具体的な方策を記載してください（複数記載可）。

　【合理化の方向の例】

　・人材確保に向けた就業規則等の整備

　・相続及び経営継承に向けた取り組み

　・多様な人材の育成及び定着に向けた取組

　・家族間の役割分担（家族間経営協定を締結している場合）

４．「⑥その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置」について

　この項目には、③～⑤以外の取組等について記載してください（複数記載可）。

　【例】

　・農業経営基盤強化準備金の活用

　・農業制度資金（農業経営基盤強化資金、農業近代化資金等）の活用（借入の予定年

度、予定借入額等を記載してください）